

景観配慮協議申出書

令和元年 9月 19日

(宛先) 鎌倉市長

住所 [Redacted]

届出者 氏名 細谷 操

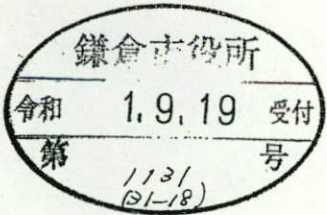
電話 [Redacted]

住所 千葉県船橋市西習志野 3-26-8-2B

代理人 氏名 株がもう設計事務所

代表取締役 蒲生良隆

電話 047 (463) 9901



〔 法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。 〕

次のとおり申し上げます。

土地利用類型 の 名 称	住商複合地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設計者	住 所	千葉県船橋市西習志野3丁目26-8 ファインコート北習志野2B	
	氏 名	蒲生 良隆	電話 047(463)9901
行為の 場所	地名地番	鎌倉市手広6丁目1285-1、ほか7筆	
	用途地域	準住居地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他()	
行為の 種類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	令和元年11月11日	完了予定 令和2年 4月 30日

(裏)

建築物の概要	用途	自動車ショールーム、事務所、修理工場				
	最高の高さ	7.0m	階数	地上 2階 地下 無し		
	構造	鉄骨造				
	敷地面積	1892.64m ²				
	建築面積	603.49m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 603.49m ²	
	延べ面積	645.43m ²	届出以外の部分	0m ²	合計 645.43m ²	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m		<input type="checkbox"/> その他 m		
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²				
	仕上材	屋根	カラーガルバリウム鋼板	色彩	屋根	N5.5 (グレー)
		外壁	押出成形セメント板 (塗装)		外壁	N7.5 (シルバー)、5PB3/2 (グレー)、N9.3 (ホワイト)
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²				
	行為の目的	分割 (区画)	(最小区画面積 m ²)			
	行為の内容	切土 (m ³)	盛土 (m ³)	その他 ()		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴(景観的特性、景観資源等)をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	県道沿いに店舗が点在し、近くの柏尾川沿いには工場が立ち並んでいる。県道を離れると戸建の住宅街が広がっている。
まち並みの連続性	県道沿いでも2～3階程度の比較的低層の建物が多くなっている。
周辺建物のデザイン	鉄骨造や鉄筋コンクリート造の店舗が立ち並び何軒か木造の建物が建っている。
眺 望 景 観	近隣には柏尾川沿いや南側の丘に建つ県立高校周囲に木々が茂り県道沿いながらも遠景に自然を感じることが出来る。
景 観 資 源	県道沿いに店舗が立ち並び賑やかな雰囲気それぞれがかもし出している。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	賑やかさを出す為に建物を県道沿いに近づけた。また、裏の高等学校に配慮し、騒音の出る整備工場を高等学校の敷地から離れた。
形 態 意 匠	○	周囲の建物にあわせ2階建てに押さえスカイラインを統一した。
色 彩	○	基本はシルバー等の落ち着いた色調とし、アクセントとして建物に数箇所、企業色を配した。
建 築 設 備	◎	賑やかさのある県道から整備工場内や室外機などが見えないよう配慮した。
外 構 緑 化	○	建物と道路との間に緑地を設け、沿道の緑化に勤めた。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		